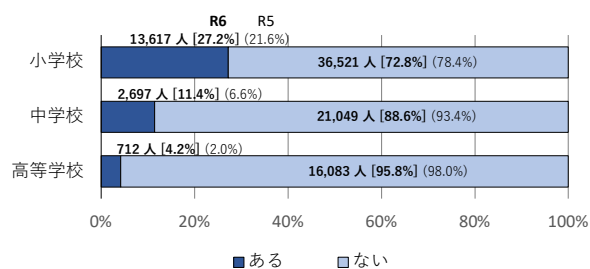


(1) 嫌な気持ちになったこと

※昨年度は「いじめと感じるようなことをされて、嫌な気持ちになったこと」

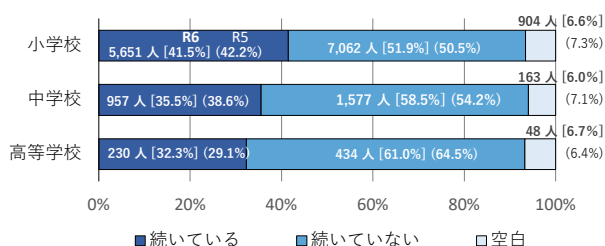
問1 嫌な気持ちになったことの有無



学校段階が進むにつれ、「嫌な気持ちになったことがある」と回答した児童生徒の割合は下がる傾向にあった。

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

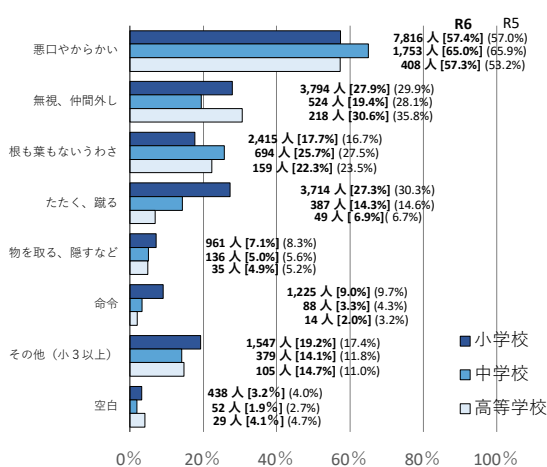
問2 (3) 嫌な気持ちになったことの継続状況



小学校においては約4割の児童が、また中学校・高等学校においては3割を超える生徒が嫌な気持ちになったことが解消されていなかった。(回答時点)

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

問2 (1) 嫌な気持ちになったことの内容 (複数回答可)



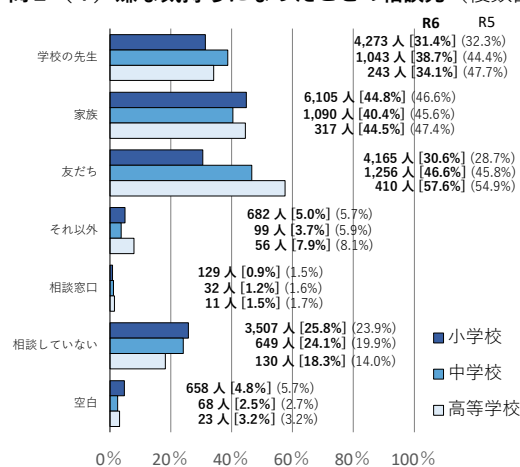
「その他」の記述例

- ・男っぽいといわれた
- ・名前をバカにされた
- ・体型のことを言われた
- ・嘘をつかれた
- ・外国人だと差別された
- ・無断で写真を広められた
- 等

嫌な気持ちになった内容について、全校種において、「悪口やかからかい」が最も多かった。

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

問2 (4) 嫌な気持ちになったこととの相談先 (複数回答可)

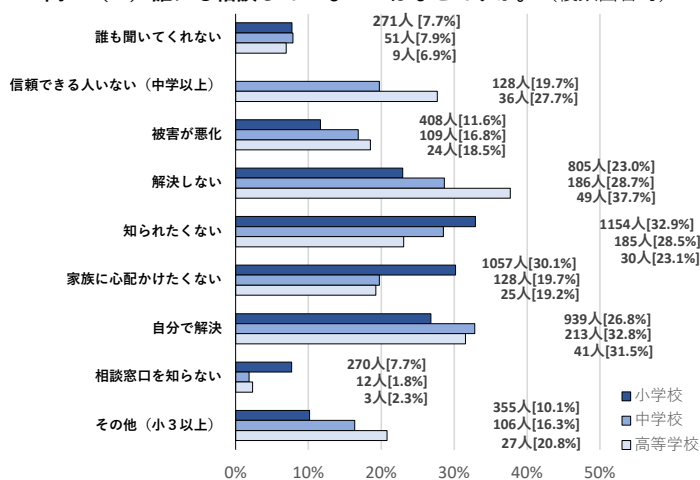


学校段階が進むにつれ、「友だち」に相談する割合は上がる傾向にあった。また、全校種において約2割の児童生徒が「相談していない」と回答した。

※今年度より新設

(問2 (4)で「相談していない」と回答した児童生徒について)

問2 (5) 誰にも相談していないのはなぜですか。 (複数回答可)



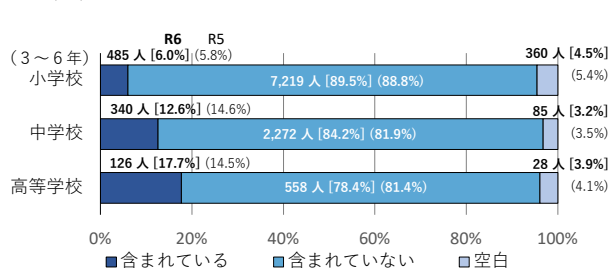
小学校は「他人に知られたくない」「家族に心配かけたくない」が多く、中学校・高等学校では「相談しても解決しない」「自分で解決しようと思う」が多かった。

「その他」の記述例

- ・話す勇気がなかったから
- ・配信上で注意した場合やめてくれる人が多いから
- ・相談するという思考に至らなかった
- 等

(問1で「ある」と回答した児童生徒について)

問2 (2) ネット上でされたことが含まれているか



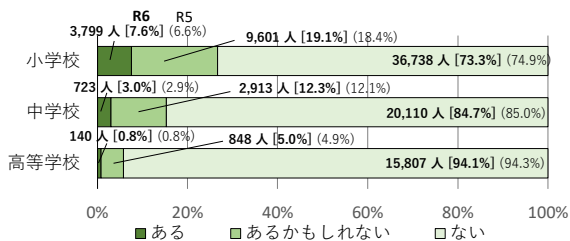
【参考】問2 (1)より

小学校1・2年生における、「ネットを使って、悪口を言われたり、仲間はずれにされたりした」と回答した人数と割合 245人 [4.4%] (5.1%)

嫌な気持ちになったことについて、ネット上でされたことが含まれている割合は、昨年度より高等学校で3.2%、小学校で0.2%増加し、中学校で2.0%減少した。

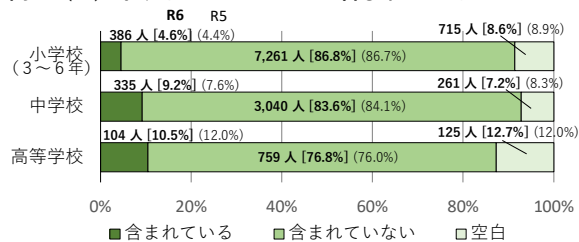
(2) 相手を嫌な気持ちにさせたこと

問3 相手を嫌な気持ちにさせたことの有無



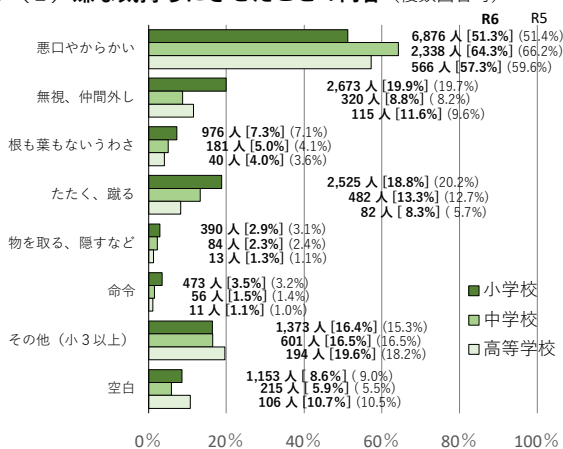
学校段階が進むにつれ、「嫌な気持ちにさせたことがある」「あるかもしれない」と回答した児童生徒の割合は下がる傾向にあった。

問4 (2) ネット上でしたことが含まれているか



【参考】問4 (1) より
小学校1・2年生における、「ネットを使って、悪口を言ったり、仲間ははずれにした」と回答した人数と割合 133人 [2.6%] (3.3%)

問4 (1) 嫌な気持ちにさせたことの内容 (複数回答可)

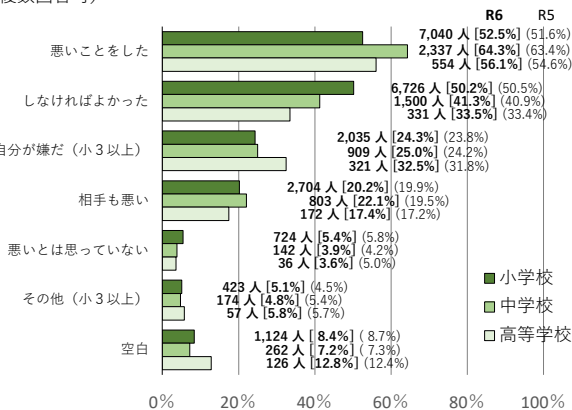


「その他」の記述例

- ・イライラしたときに八つ当たりした
- ・強い口調で言ってしまった
- ・許可なく動画を撮った
- ・いじりをした
- ・触れてはいけない話題に触れてしまった
- ・知らないうちに傷つけたことがあるかも知れない。
- 等

嫌な気持ちにさせた内容について、全校種において、「悪口やかからかい」が最も多かった。

問4 (3) 嫌な気持ちにさせたことに対する気持ち (複数回答可)

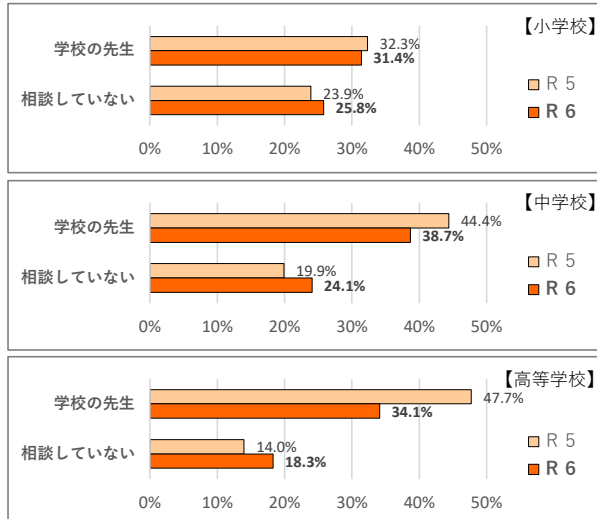


「その他」の記述例

- ・自分が恥ずかしい
- ・反省をしているが、一緒にいたくない気持ちがある
- ・自分もされたらどのような気持ちになるかを考えている
- ・言い過ぎたかもしれない
- ・よくわからない
- 等

嫌な気持ちにさせたことに対する気持ちについて、全ての校種において反省や後悔の回答が多かったが、約2割の児童生徒が「相手も悪い」と回答した。

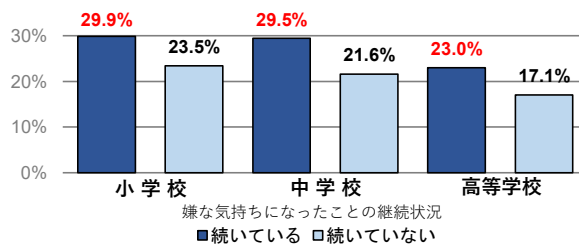
〈経年比較〉「嫌な気持ちになったことの相談先」



〈クロス集計1〉

「嫌な気持ちになったことの継続状況」と「嫌な気持ちになったことの相談先」の関係 (問2 (3)) × (問2 (4))

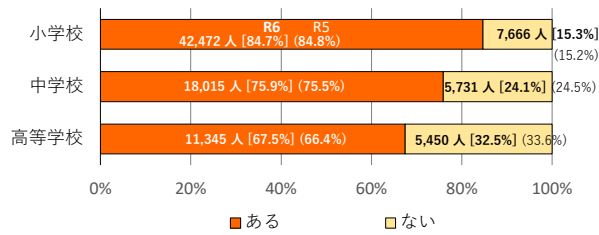
○「嫌な気持ちになったことを、誰にも相談していない」を選択した割合



嫌な気持ちになったことが続いていると回答した児童生徒は、誰にも相談していない割合が高い。

(3) 教職員からの言動に関すること

問5 うれしい気持ちになったことの有無



(問5で「ある」と回答した児童生徒について)

問6 (1) うれしい気持ちになったことの内容 (複数回答可)

学校種別	内容	R6	R5
小学校	1 楽しく、分かりやすい授業	28,335人 66.7%	67.6%
	2 がんばったことを認めてくれた	21,168人 49.8%	49.7%
	3 困っているとき、助けてくれた	18,033人 42.5%	42.5%
	4 悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	13,923人 32.8%	32.0%
中学校	1 楽しく、分かりやすい授業	11,702人 65.0%	65.0%
	2 がんばったことを認めてくれた	7,842人 43.5%	42.7%
	3 困っているとき、助けてくれた	6,119人 34.0%	32.4%
	4 悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	5,650人 31.4%	29.8%
高等学校	1 楽しく、分かりやすい授業	6,057人 53.4%	52.7%
	2 がんばったことを認めてくれた	4,389人 38.7%	38.6%
	3 悩みを聞いたり、相談に乗ってくれた	3,306人 29.1%	28.1%
	4 困っているとき、助けてくれた	3,152人 27.8%	26.5%

「その他」の記述例

- ・面白い話をしてくれた
- ・自分の趣味に興味を持ってくれた
- ・体調が良くないとき心配してくれた
- ・自信がないことに自信をくれた
- ・クラスの雰囲気を楽しませてくれた
- 等

(問5で「ない」と回答した児童生徒について)

問6 (2) 教職員にしてほしいことの内容 (複数回答可)

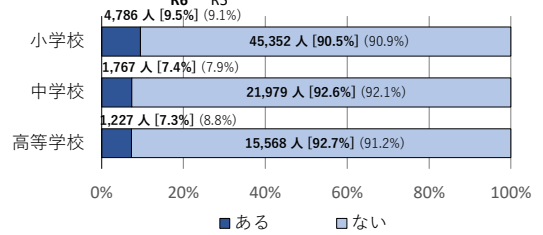
学校種別	内容	R6	R5
小学校	1 楽しく、分かりやすい授業	2,760人 36.0%	37.2%
	2 誰に対しても同じように接してほしい	1,693人 32.7%	33.2%
	3 がんばったことを認めてほしい	1,450人 18.9%	20.1%
	4 納得いくまで話してほしい	1,352人 17.6%	19.4%
中学校	1 楽しく、分かりやすい授業	2,101人 36.7%	37.9%
	2 誰に対しても同じように接してほしい	1,631人 28.5%	29.2%
	3 がんばったことを認めてほしい	887人 15.5%	15.4%
	4 意見や考えを尊重してほしい	830人 14.5%	14.6%
高等学校	1 楽しく、分かりやすい授業	1,749人 32.1%	35.4%
	2 誰に対しても同じように接してほしい	913人 16.8%	17.2%
	3 がんばったことを認めてほしい	622人 11.4%	12.3%
	4 意見や考えを尊重してほしい	596人 10.9%	11.2%

「その他」の記述例

- ・話しやすい環境を作ってほしい
- ・毎日笑顔で笑っていてほしい
- ・校則の見直しをしてほしい
- ・どんな話でも最後まで聞いてほしい
- ・生徒やクラスの様子をもっと見てほしい
- 等

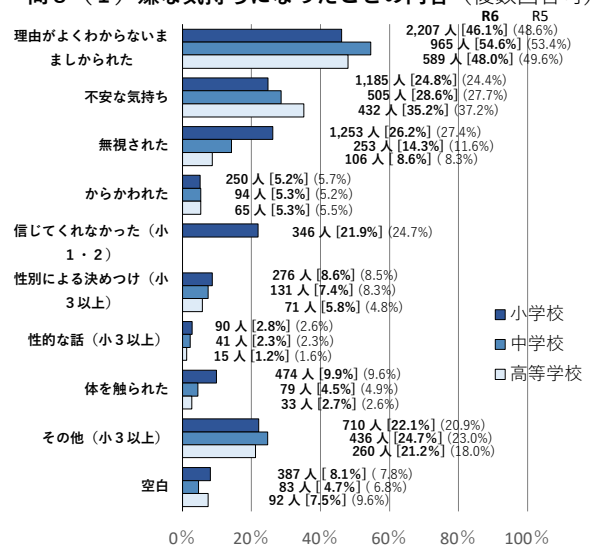
うれしい気持ちになったこと、教職員にしてほしいことについて、「楽しく、わかりやすい授業」が最も多かった。また、上位を占める項目は、校種間での差はあまり見られなかった。

問7 嫌な気持ちになったことの有無



(問7で「ある」と回答した児童生徒について)

問8 (1) 嫌な気持ちになったことの内容 (複数回答可)



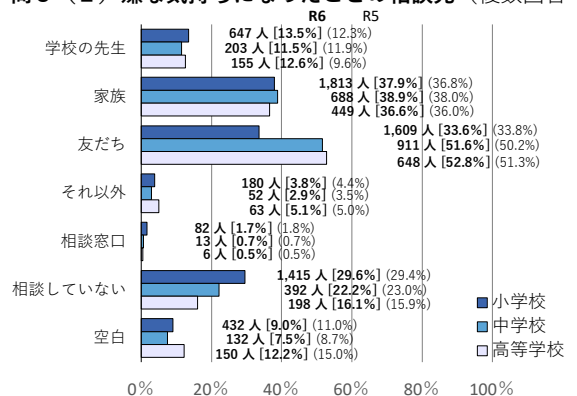
「その他」の記述例

- ・他の人もしていたけど自分だけが怒られた
- ・挨拶をしたのに返してくれなかった
- ・意見を完全否定された
- ・人と比べられた
- ・口調がきつい
- 等

嫌な気持ちになった内容は、全校種において「理由がよくわからないまま、まじられた」が最も多かった。

(問7で「ある」と回答した児童生徒について)

問8 (2) 嫌な気持ちになったことの内容 (複数回答可)

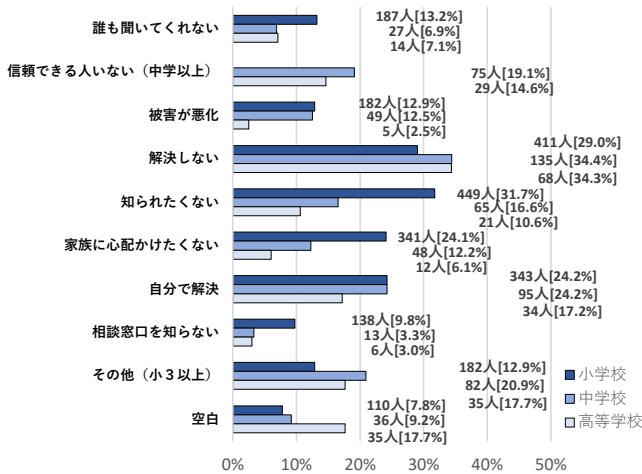


教職員からの言動で嫌な気持ちになったことの内容の相談先について、「学校の先生」に相談する割合は約1割であった。また、約2〜3割が「相談していない」と回答した。

※今年度より新設

(問8(2)で「相談していない」と回答した児童生徒について)

問8(3) 誰にも相談していないのはなぜですか。(複数回答可)

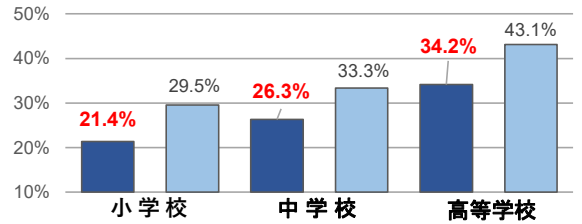


小学校は特に他校種に比べ「他人に知られたくない」の割合が高く、中学校・高等学校では「相談しても解決しない」「自分で解決しようと思う」の割合が高かった。

〈クロス集計2〉

「相談しても解決しない」と「教職員からの言動」の関係 (問2(5)) × (問5)

○「解決しない」を選択した割合



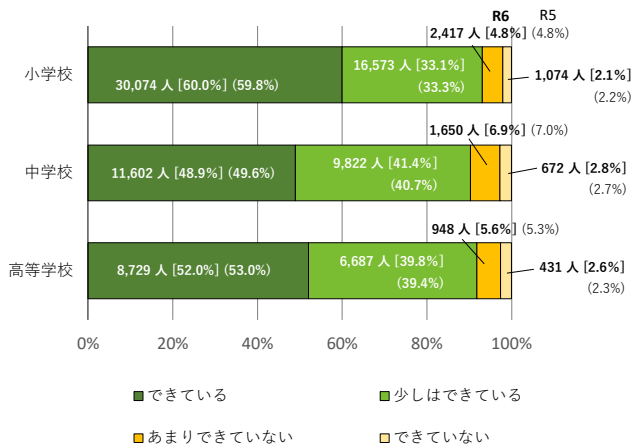
先生がしてくれたことで嬉しい気持ちになったこと

■ある □ない

教職員からの言動で、うれしい気持ちになったことがある児童生徒は、相談しても解決しないと思う割合が低い。

(4) 一人一人のちがいを認め合うこと

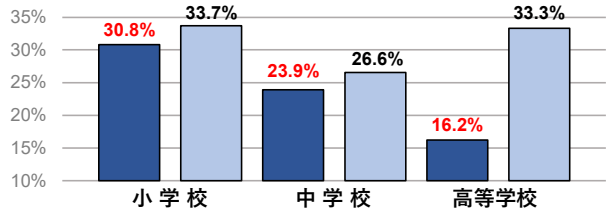
問9(1) 周りの人たちは、ちがいを認め合っているか



〈クロス集計3〉

「知られたくないから相談しない」と「周りの人たちのちがいに対する考え」の関係 (問2(5)) × (問9(1))

○「知られたくない」を選択した割合

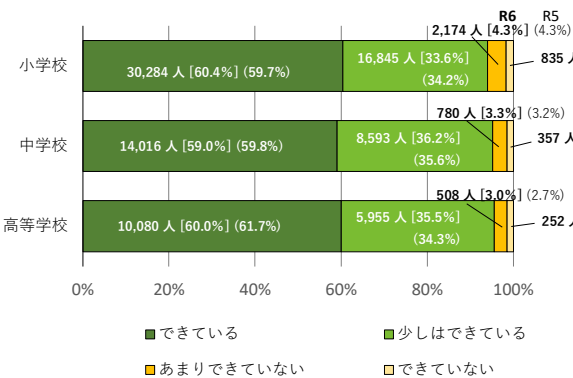


周りの人たちは、ちがいを認め合っているか

■できている □できていない

周りの人たちは、ちがいを認め合っていると感じている児童生徒は、知られたくないから相談しないと思う割合が低い。

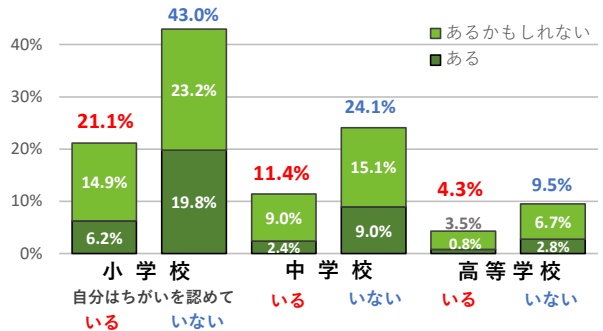
問9(2) 自分は、ちがいを認めることができるか



〈クロス集計4〉

「相手を嫌な気持ちにさせたこと」と「自分自身のちがいに対する考え」の関係 (問3) × (問9(2))

○「いやな気持ちにさせたことがある・あるかもしれない」を選択した割合



自分自身はちがいを認めていると思う児童生徒は、相手を嫌な気持ちにさせた割合が低い。

9割以上の児童生徒が、周りの人たちに対して、自分自身に対して、ちがいを認めることが「できている」もしくは「少しはできている」と回答した。